

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17055
課題名	乳腺 MRI 検査における画像処理された拡散強調像の基本特性の検討
研究期間	西暦 2017 年 倫理委員会承認日 ～ 2019 年 3 月 31 日
研究の対象	2017 年 1 月～2017 年 6 月に当院で乳腺造影 MRI 検査を受けられた方(女性)
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、病変の大きさ・位置、MRI 検査所見、病理所見等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（乳腺 MRI 画像 ）
研究の意義、目的	<p>乳腺 MRI 検査における拡散強調画像は造影剤を注射しなくても病変を写すことができることから有用な画像で本院でも撮像しています。近年 Computed DWI というコンピュータを用いて拡散強調画像のコントラストを自由に変化させる方法が開発され、腹部や骨盤領域において多くの研究結果が報告されるようになりました。しかしながら乳腺領域ではまだ十分な研究が行われていません。そこで本研究では Computed DWI で作成された拡散強調画像の基本的な特性を調べます。</p>
研究の方法	<p>Computed DWI で作成された拡散強調画像の基本的な物理特性と病変の写りやすさを評価し、従来からの方法と比較します。</p>
その他	<p>当研究は、当院に設置されている GE ヘルスケアジャパン製の MRI 装置および富士フイルムメディカル社製画像処理装置を用いて行いますが、本研究の利害関係については旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ています。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先： 所属：旭川医科大学病院 診療技術部 放射線技術部門 氏名：中田 隆文（研究責任者） 電話番号：0166-69-3433</p>